

「高度医療・人材育成拠点ビジョン～みんなの病院構想～」の策定について

1 要旨・目的

本県の地域医療構想を推進するため、広島都市圏において、全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討を進めてきた。

3月24日に開催された第4回広島県地域保健対策協議会 保健医療基本問題検討委員会において、「高度医療・人材育成拠点ビジョン」が、地対協の提言として取りまとめられた。

2 現状・背景

本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題がある。とりわけ、高度な医療資源が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民，医療関係者等

(2) 実施内容

広島県地域保健対策協議会 保健医療基本問題検討委員会において、「高度医療・人材育成拠点」に必要な医療機能等について検討を行った。

ア 拠点ビジョンの構成（概要は別紙参照）

目次	内容
第1章	目指す姿
第2章	現状と課題 【目指す姿の実現に向けた取組の方向性】 ①将来の医療需要を見据えた病床機能分化・連携の推進 ②効率的な医療資源（人的・物的）の配置 ③医療資源が集中する広島都市圏における更なる医療の高度化 ④医師を惹きつける魅力があり，働きやすい医療現場の創出 ⑤医師の地域及び診療科における偏在の解消 ⑥新興・再興感染症への機動的な対応
第3章	目指す姿の実現に向けた考察 1 先進事例調査 2 広島大学・広島県連携会議における意見
第4章	目指す姿の実現に向けた方針 1 SWOT分析 2 拠点に期待される役割 3 拠点に求められる高度医療機能 4 拠点に求められる人材育成・供給機能 5 拠点の整備に向けて

イ 会議における主な意見（目指す姿の実現に向けた方針）

項目	主な意見
拠点ビジョンの名称	○人材供給ではなく、人材育成という名称に変更した点は非常に良い。 ○新病院の名称については、官学民オール広島構想を目指す病院というニュアンスを感じられる名称が良いのではないかと。
新病院の規模	○医師の働き方改革を実現するためには、1,000床規模の病床数は妥当ではないかと。その上で、病院群の連携を深化させることが重要ではないかと。
新病院の建設候補地	○建設候補地である二葉の里地区にはJR広島病院が既にあるが、新病院として現状のJR広島病院の建物の一部を活用するのか、それとも新たに1,000床の病院を建設するのか検討する必要がある。 ○新病院への交通アクセスの確保について十分検討を行う必要がある。 ○病院の移転を伴うのであれば、移転する医療機関の周辺住民への対応を検討する必要がある。
新病院の運営形態	○1,000床規模の病院となると、病院のガバナンスをどのように図っていくか検討する必要がある。 ○地方公営企業法の全部適用から地方独立行政法人への移行により、柔軟な運営が可能となったことから、新病院についても地方独立行政法人での運営を検討してはどうか。
医療機能の分化・連携	○機能分化・連携を進めていく病院として名前が挙がっている病院のうち、JR広島病院と県立広島病院以外は、単なる連携なのか、それとも今後統合もあり得るのか、更に検討を進めていく必要がある。

(3) 今後の取組

地対協からの提言を踏まえ、「高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議」を設置し、新病院の整備に向けたフィジビリティスタディなど、拠点ビジョンの実現に向けた検討を進める。

○高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議の設置

新病院の整備を進めるとともに、医療機能の分化・連携の深化を図るため、関係医療機関等が参画する「高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議」を設置し、拠点ビジョンの実現を図る。

【連携して取り組む事項】

- ① 医療機能の分化・連携の推進（役割分担と連携の仕組みなど）
- ② 患者紹介・逆紹介の推進
- ③ 医療人材の育成，交流（研修体制の強化，キャリア形成支援の仕組みなど）
- ④ 連携体制のあり方検討（連携協定，地域医療連携推進法人など）
- ⑤ 拠点ビジョンの実現に向けた基本構想等の検討

(4) スケジュール

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
拠点ビジョンの実現	●		●		●	
高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議において各病院の役割分担等を協議 						

(5) 令和4年度当初予算

93,747千円（一部国庫）

1

目指す姿（10年後）「安心・誇り・挑戦ひろしまビジョン」

全国トップレベルの高度・専門医療や最先端の医療を提供できる中核的な機能を整備し、県民に高い水準の医療が提供されている。また、こうした高度な医療や様々な症例の集積、医育機関との連携・協働を進め、魅力ある医療現場として若手医師に選ばれることで、**新たな医師等の育成・派遣の拠点として、県全体の医療提供体制が確保されている。**

2

広島県の医療提供体制の現状・課題（主なもの）

- がんと心疾患の死者数は漸増傾向**
広島県内の死者数（2009年 → 2018年）：
悪性新生物 7,749人 → 8,346人（108%）、心疾患 4,430人 → 5,039人（114%）
→ 最新の低侵襲治療の提供
- 無医地区数は、全国ワースト2位**
広島県内の無医地区数：2014年 54か所 → 2019年 59か所
→ 医師の偏在解消、総合診療医の育成
- 若手医師が減少**
広島県内の20～30歳代の病院勤務医師数の増減率：
2002年 → 2018年 88.5%（全国 107.5%・広島市 96.8%）
→ 症例集積による若手医師の誘引、医師のキャリア・アップと生活支援
- 救急搬送困難事案の割合が高い**
広島県の現場滞在時間30分以上の割合：7.5%
…政令市のある16都道府県のうち、ワースト5位
→ 医療資源の集約による救急患者応需率の向上
- 医師の働き方改革が迫る（2024年4月～）**
時間外勤務の年間上限時間：救急医療等は、1,860時間（暫定特例水準）
→ マンパワーの集約、タスクシフト・タスクシェアリングの普及
- 急性期病床は過剰、回復期病床は不足（地域医療構想）**
広島医療圏における2020年の病床数と2025年の必要病床数との差：
急性期 828床過剰、回復期 2,120床不足
→ 医療機関の機能分化・連携の促進

3

拠点に期待される役割

- 高度・急性期医療を担う基幹病院として、**救急・小児・周産期・災害医療・感染症への対応**など、県民の医療需要に応える。
- 広島都市圏を中心とした**医療機能の分化・連携**により、医療資源や様々な症例を集積することで、県民に**高度な医療**を提供する。
- 地域において核となる**拠点病院への医療人材の供給・循環の仕組み**を構築することにより、**中山間地域の医療を守り、持続的な医療提供体制を確保する。**

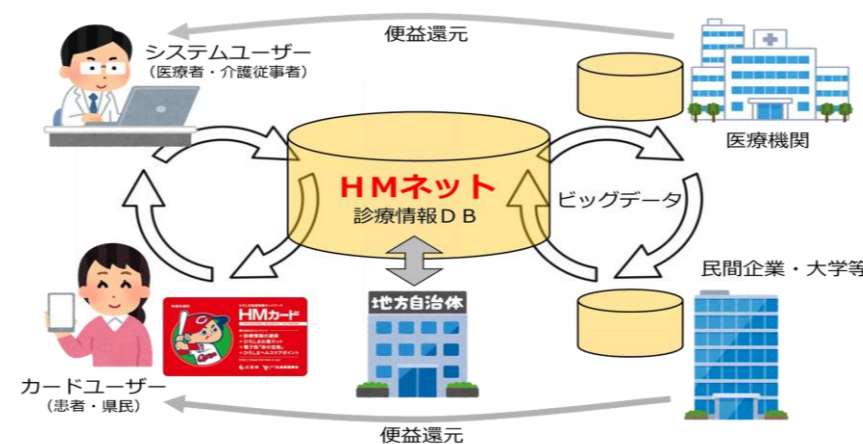


4

拠点に求められる高度医療機能

救急	救命救急センター ・ ER及び救急応需率の向上により、救急搬送時の現場滞在時間を短縮 ・ 応需率を高めるため、マンパワーを集約 ・ 救急救命士等を活用したタスクシフトにより医師の負荷を軽減 ・ 外傷センターを併設し、専門性の高い救急医療を提供 ・ 豊富な症例が経験できる施設として若手医師を誘引
小児	小児救命救急センター（中国地方初） ・ PICU（小児集中治療室）6床以上を整備 ・ 小児循環器外科医を配置し、小児心臓手術に対応 ・ 一次救急から高次救急まで即応性が高い最善の救急医療を提供
周産期	総合周産期母子医療センター ・ 周産期医療体制の充実（市中医療機関との機能分化・連携） ・ 生殖医療の高度化
がん	がん治療センター ・ がんの集学的治療、標準治療の症例集積（ハイボリュームセンター） ・ 最新の低侵襲治療 ・ 薬物療法チーム、HIPRACと連携した放射線治療 ・ 緩和ケアチームの育成、がんゲノム診療
脳・心疾患	脳心臓血管センター、脳卒中センター ・ 患者の増加が見込まれる疾患に対応 慢性疾患を抱える患者への対応 ・ 慢性疾患の患者の増悪時に対応
精神	児童精神科 ・ 様々な要因で学校へ行けない児童・生徒や発達障害児への対応 精神科救急 ・ 自傷他害や複合疾患の救急患者への対応（個室や専門スタッフの配置）
感染症	新興感染症等の感染拡大に備えた体制 ・ 感染拡大に対応可能な病床等の確保（転用しやすい病棟・個室の確保） ・ 専門人材の育成・確保 ・ 感染防護具等の備蓄 ・ 院内感染対策の徹底、クラスター発生時の対応方針（BCP）の策定 ・ 医療機関間の連携・役割分担
災害	災害に備えた体制（災害拠点病院） ・ 南海トラフ巨大地震等を想定した医療体制の確保（耐震化、浸水対策等） ・ 医薬品、食料、水、燃料の備蓄 ・ 非常電源（自家発電装置）の確保 ・ 被災地の医療を確保するための広域的支援体制（DMATの派遣等）
D X	デジタル技術やデータの活用 ・ HMネットを基盤としたデジタル技術の導入促進、診療情報の共有化 ・ 電子カルテの共有 ・ オンライン診療の普及促進 ・ 集積された診療情報を治療研究・開発等に活用（高付加価値化）

【DXによる診療情報等の高付加価値化】

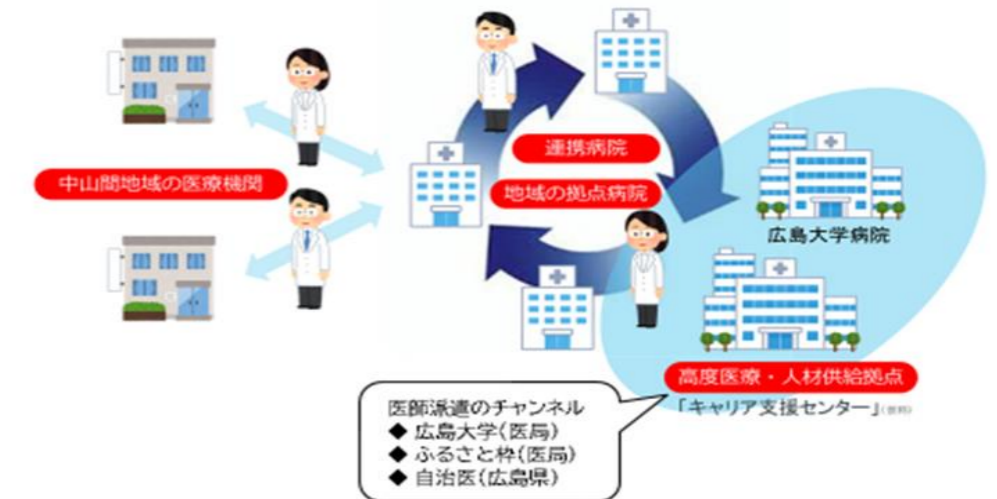


5

拠点に求められる人材育成・派遣機能

- キャリア支援センター（仮称）**
人事情報（ニーズ&シーズ）を集約・共有し、効率的なマッチングを支援するとともに、ライフステージに配慮しながら医師のキャリア形成を支援する体制が必要。
[スキルアップ支援]
魅力的な研修プログラム、ローテートによる幅広い臨床経験、専門医資格が取得しやすい環境、オンラインによる診療支援、学会活動・研究活動の支援
[生活支援]
ライフステージに配慮した勤務地、女性医師への支援、医師の働き方改革（タスクシフト、タスクシェアリング）
- 総合診療医の育成**
高齢者の増加により、全人的な視野で患者と地域を診ることができる総合診療医のニーズは高まっており、総合診療医の育成は急務。

【医師の人事交流～病院群ネットワークの中でローテート】



6

拠点の整備に向けて

- ◎ 県民に高い水準の医療を提供するとともに、県全体の医療体制の確保に向けた医師等の育成・交流の拠点として、医療資源の集約による、急性期医療を中心とする新たな病院の整備が必要である。

【新病院の概観】

規模	症例の集積効果が見込まれ、医師を惹きつけるインパクトがある病床として、「 1,000床程度 」が必要ではないか。
建設候補地	必要な病床数を確保するための建築面積、交通の利便性、南海トラフ巨大地震を想定した防災上の視点等から「 広島市東区二葉の里 」を建設候補地としてどうか。

- ◎ 地域の医療機関全体で一つの病院のような機能を持ち、切れ目のない医療を効率的に提供する「**地域完結型医療**」を実現するため、機能分化と連携を進める必要がある。

【機能分化・連携の深化を検討する医療機関】

広島大学病院・県立広島病院・広島市民病院・安佐市民病院・舟入市民病院・広島赤十字・原爆病院・広島記念病院・吉島病院・マツダ病院・中電病院・JR広島病院・HIPRAC

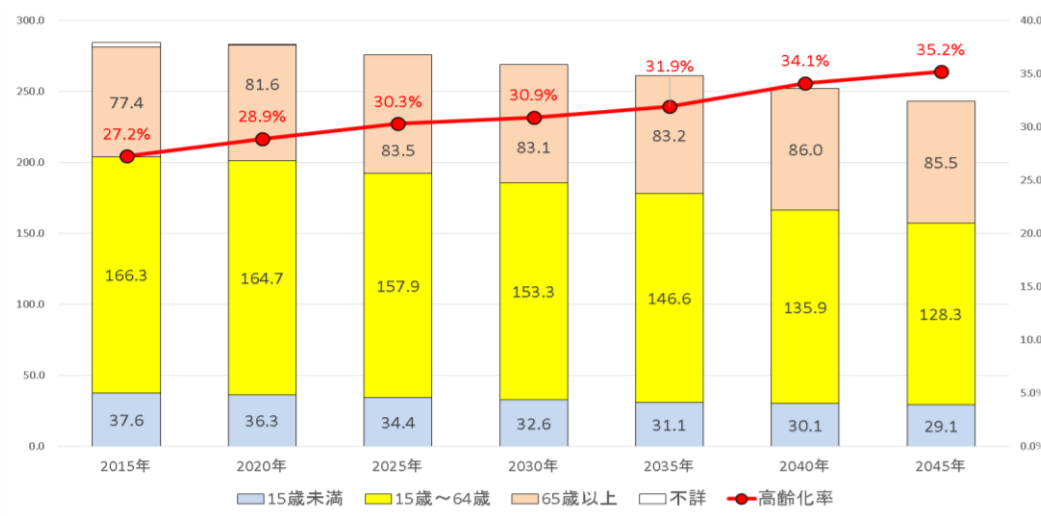
※ 連携の趣旨に賛同する他の医療機関の参加を促す

政策医療を担う「**県立広島病院**」と交通利便性の高い場所に立地する「**JR広島病院**」の統合による新たな病院の整備を検討してはどうか。

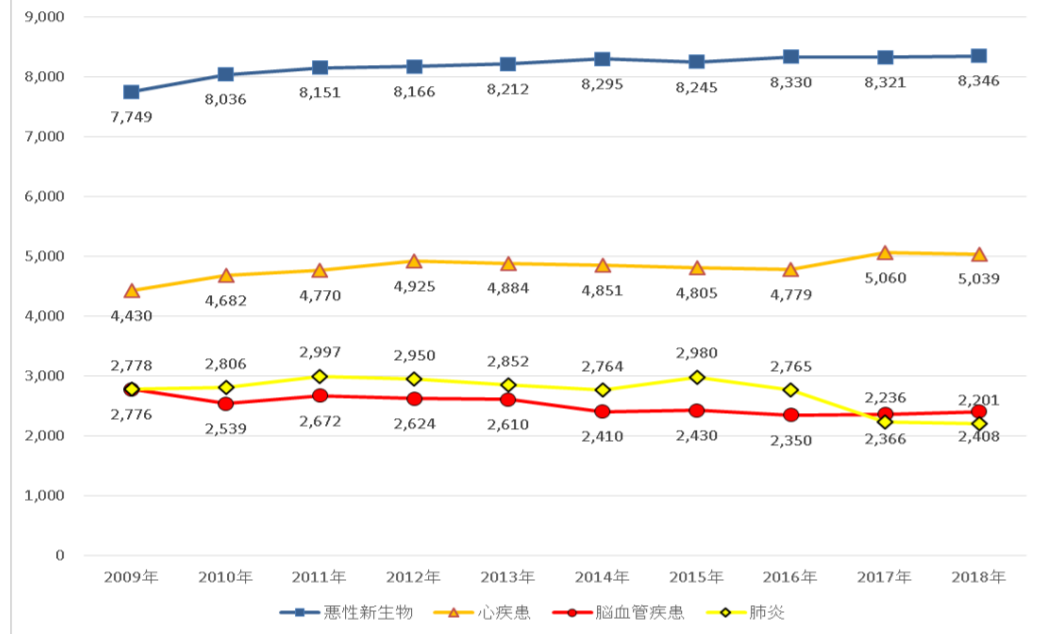
- ★ 令和4年度に「**高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議**」を設置し、新たな病院整備のフィジビリティ・スタディなど、拠点ビジョンの実現に向けて検討を進める。

高度医療・人材育成拠点ビジョン～みんなの病院構想～（広島県地域保健対策協議会・保健医療基本問題検討委員会提言）の概要

① 人口と高齢化率（推計）（広島県）



② 主な疾患別死亡者数の推移（広島県）



④ 救急搬送患者の受入れ状況（重症以上・2019年）

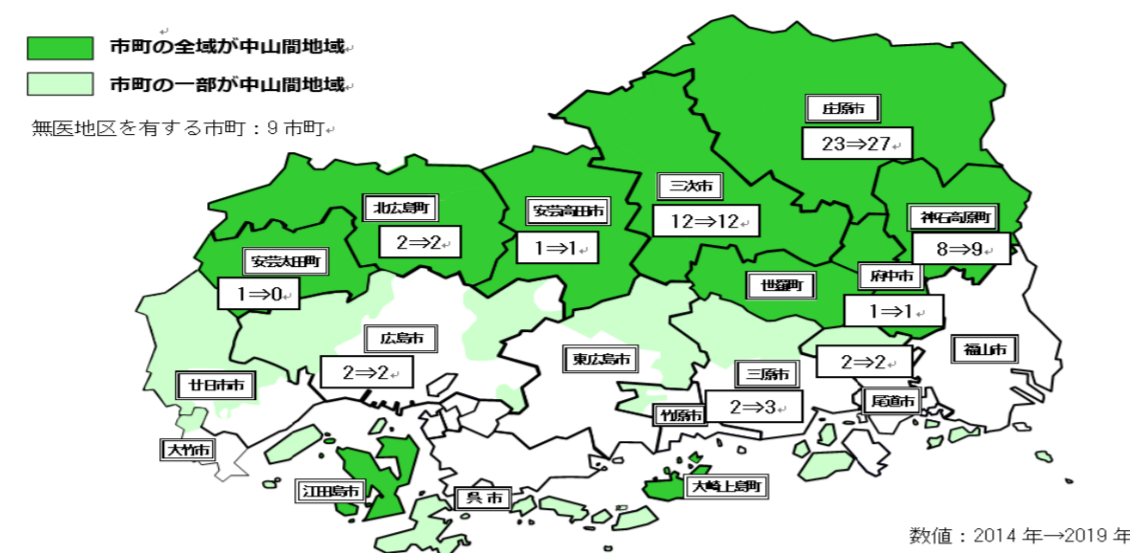
区分	受入れ件数	受入れ割合4回以上		現場滞在時間30分以上	
		件数	構成比	件数	構成比
全 国	456,973	11,067	2.4%	23,790	5.2%
北 海 道	21,775	407	1.9%	1,093	5.0%
宮 城 県	9,932	355	3.6%	778	7.8%
埼 玉 県	24,345	1,095	4.5%	3,190	13.1%
千 葉 県	19,307	962	5.0%	2,232	11.6%
東 京 都	44,919	1,807	4.0%	2,349	5.2%
神 奈 川 県	33,755	481	1.4%	2,819	8.4%
新 潟 県	11,498	451	3.9%	770	6.7%
静 岡 県	10,768	173	1.6%	502	4.7%
愛 知 県	18,657	61	0.3%	191	1.0%
京 都 府	7,878	110	1.4%	260	3.3%
大 阪 府	15,577	460	3.0%	702	4.5%
兵 庫 県	15,616	355	2.3%	789	5.1%
岡 山 県	10,189	295	2.9%	345	3.4%
広 島 県	10,861	330	3.0%	820	7.5%
福 岡 県	11,620	141	1.2%	157	1.4%
熊 本 県	7,809	109	1.4%	204	2.6%

⑤ 受入れに至らなかった理由（広島県・2019年）

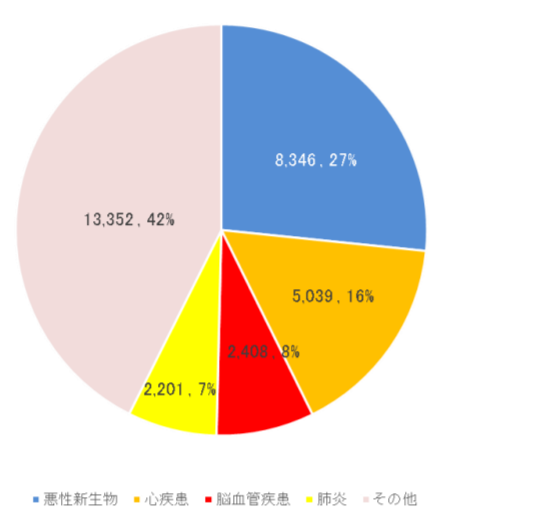
理 由	重症以上		小児	
	重症以上	照会11回以上	小児	照会11回以上
手術中、患者対応中	629	4	286	5
ベッド満床	494	8	31	3
処置困難	1,255	35	704	15
専門外	251	17	287	1
医師不在	121	5	150	1
初診(かかりつけ医なし)	109	0	0	0
理由不明、その他	756	30	355	1
合計	3,615	99	1,813	26

「手術中、患者対応中」…手術中、重症（長期入院）患者対応などにより手が離せない
「処置困難」…痛病者の症状に対処する設備、資器材がない、手術スタッフ不足、人手不足、手に負えない
「専門外」…専門知識が必要であるが、専門医が不在
令和3年2月22日 総務省消防庁「救急業務のあり方に関する検討会」資料より作成

⑦ 無医地区の状況（2014年→2019年）



⑧ 主な疾患別死亡者数（広島県・2018年）



強
み
(
S
)

弱
み
(
W
)

- ・ 基幹病院の先進医療
- ・ 基幹病院の低侵襲治療
- ・ 先進治療設備（ダ・ヴィンチ、ハイブリッド手術室）
- ・ 基幹病院が連携した放射線治療施設
- ・ 全県的な医療ネットワーク「HMネット」
- ・ 地域医療連携推進法人（備北）
- ・ 中山間地域への医師派遣（安佐市民病院）⑩

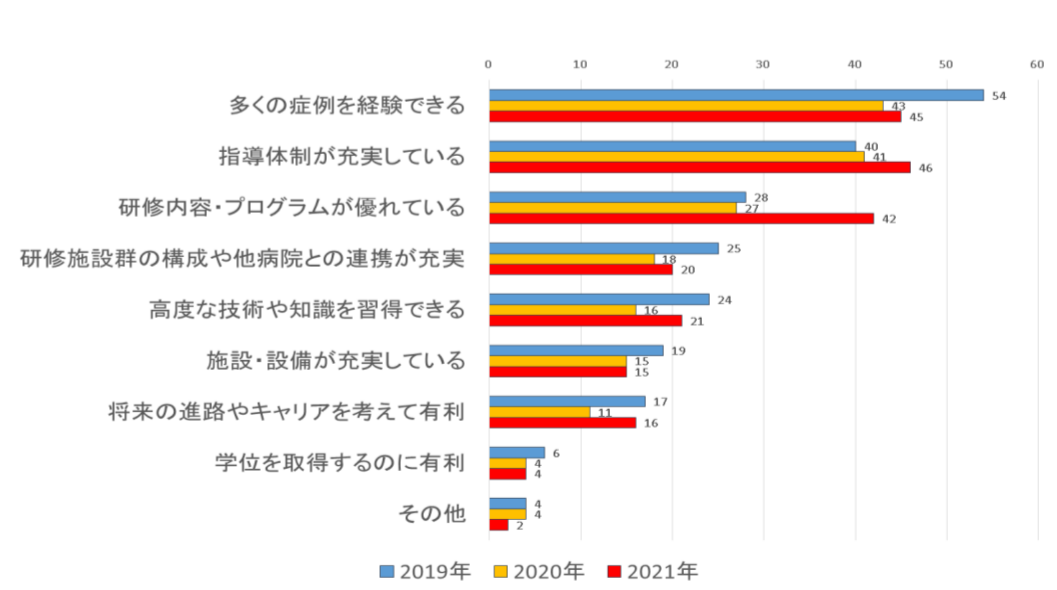
- ・ 地域医療構想（広島県）⑥
- ・ 新公立病院改革ガイドライン（総務省）
- ・ 200万人広島都市圏構想（広島市）
- ・ 新たな治療技術（先端医療）の開発
- ・ 低侵襲治療のニーズ拡大
- ・ デジタル技術の進化（メディカルDX構想）
- ・ 総合診療専門医のニーズ拡大
- ・ 若手医師は多くの症例を経験したい⑪
- ・ 医師の働き方改革（2024年度～）

- ・ 高齢者人口の増加①
- ・ 生産年齢人口の減少①
- ・ 医療需要の増加（神経系、新生物）
- ・ 死亡率の増加（悪性新生物、心疾患）②⑥
- ・ 医療需要の減少（小児）
- ・ 新興感染症の発生
- ・ 豪雨災害の頻発、南海トラフ地震
- ・ 若手医師の減少⑨
- ・ 増え続ける医療費

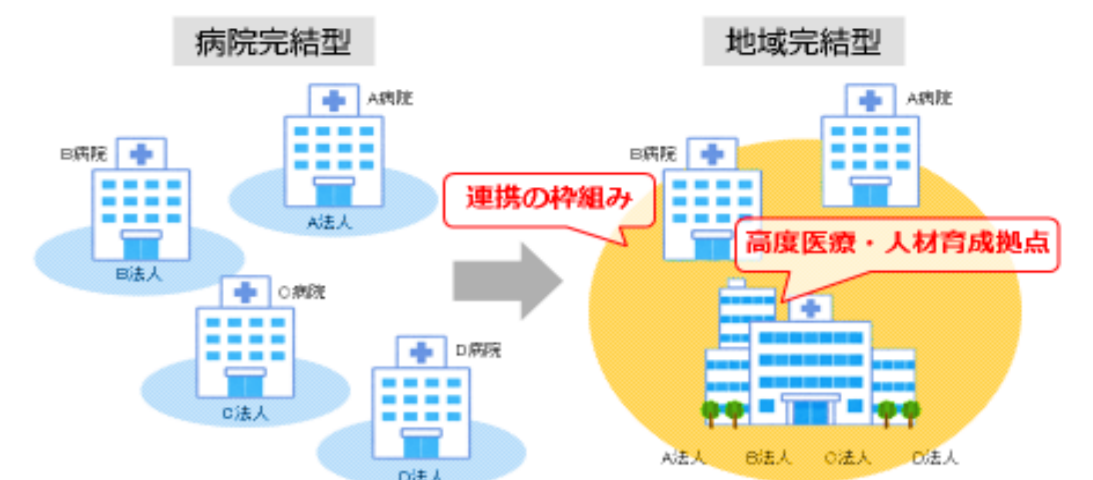
好事例



⑨ 初期臨床研修医の専門研修プログラム選択理由（広島県）



⑩ 病院完結型医療から地域完結型医療へ



- × 医療資源が分散
- × 役割が重複、競争関係
- × 医療需要と医療体制がアンマッチ
- × 医師の確保に苦慮
- × 献身的な労働により医師が疲弊
- × 法人の地域貢献は限定的

⑧ 病院勤務医師数の推移

区分	2002年		2018年		増減 2018年-2002年	
	医師数	平均年齢	医師数	平均年齢	増加数	増加率
全 国 計	159,131	41.7	208,127	44.8	48,996	30.8%
埼 玉 県	5,123	43.1	7,917	45.2	2,794	54.5%
千 葉 県	5,383	41.7	8,313	44.3	2,930	54.4%
東 京 都	19,423	40.5	27,744	42.0	8,321	42.8%
神 奈 川 県	8,754	40.8	12,503	42.7	3,749	42.8%
沖 縄 県	1,773	41.6	2,519	45.6	746	42.1%
兵 庫 県	6,290	41.7	8,831	44.5	2,541	40.4%
茨 城 県	2,635	41.8	3,679	44.2	1,044	39.6%
奈 良 県	1,763	40.2	2,383	44.6	620	35.2%
愛 知 県	7,821	41.1	10,567	43.2	2,746	35.1%
宮 城 県	2,762	42.6	3,718	45.2	956	34.6%
↓						
広 島 県	3,806	42.0	4,543	46.1	737	19.4%
↓						
広 島 市	1,796	40.8	2,248	44.3	452	25.2%

⑨ 病院勤務医師数の推移（20～30歳代）

区分	2002年		2018年		増減 2018年-2002年	
	医師数	平均年齢	医師数	平均年齢	増加数	増加率
全 国 計	82,912	41.7	89,136	44.8	6,224	7.5%
埼 玉 県	2,406	43.1	3,281	45.2	875	36.4%
千 葉 県	2,782	41.7	3,654	44.3	872	31.3%
東 京 都	10,939	40.5	14,366	42.0	3,427	31.3%
神 奈 川 県	4,831	40.8	6,098	42.7	1,267	26.2%
茨 城 県	1,355	41.8	1,673	44.2	318	23.5%
愛 知 県	4,271	41.1	5,151	43.2	880	20.6%
兵 庫 県	3,195	41.7	3,832	44.5	637	19.9%
宮 城 県	1,361	42.6	1,538	45.2	177	13.0%
岡 山 県	1,618	42.0	1,769	46.1	151	9.3%
大 阪 府	6,621	40.8	7,158	44.3	537	8.1%
↓						
広 島 県	1,960	40.8	1,735	44.3	-225	-11.5%
↓						
広 島 市	997	40.8	965	44.3	-32	-3.2%

⑩ 初期臨床研修医マッチングの推移（広島県）

